

「第 3 回ジュニアジオガイド講座」事業報告書

企画指導専門職 山下 正晃

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と自ら学ぶ意欲の育成に努める。また、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力の育成に努める。
- (2) 期 日 平成 29 年 10 月 14 日(土) 【日帰り】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇ジオパーク
- (4) 参加者 熊本県の小学 3～6 年生 25 名
(3 年生 2 名、4 年生 4 名、5 年生 11 名、6 年生 8 名)
- (5) 講 師 花岡 利和 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
花岡 玲子 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
山本 セツ 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
大西 佳代 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
川原美代子 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
- (6) 担当職員 山下 正晃 (企画指導専門職) 安部 信吾 (企画指導専門職)
宮本 賀通 (事業推進係員) 志賀 泰成 (事業支援室主任)
田上 正文 (事務補佐員)
- (7) 内容 子どもサミット開講式、子どもサミットウェルカムパーティ、子どもサミット講演会
連風上げ、大観峰ジオサイトガイド体験

2. 成果と課題

(1) 成果

- ① 当日の午後は天候が崩れ、少雨の中の時間を短縮しての活動となったが、連風上げや大観峰ジオサイトガイド体験などの屋外の活動をすべて行うことができた。
- ② 大観峰ガイドジオサイト体験では、回数を重ねるごとに大観峰の紹介がスムーズになった。また、積極的にガイドを行うようになる子が多くなり、学習したことを発信しようとする意欲の高まりも見てとれた。
- ③ ガイドを行う参加者は第 2 回時に作成した原稿を基にガイドを行った。前回のガイド体験の反省を基にジオガイドのアドバイスを受けながら修正を行うことで、より詳しく、丁寧なガイドを行うことができた。
- ④ 参加者の感想には、「ガイド体験は緊張したけど、楽しかったです。」「もっとたくさんの人にガイドをして、もっとたくさんの人に知ってもらいたい」「初めて知ったことがたくさんあった。また来たいと思います」などが見られた。実感を伴った活動が、これまでに参加した子だけでなく新規で参加した子の興味関心を引きつけるとともに、次回の探検への意欲を高めていた。

(2) 課題

- ① 今回は「みんなの FUJISAN 地球フェスタ WA2017 九州 in 阿蘇」と連携をしながらの活動であったため、少雨に伴うプログラムの変更・調整が難しかった。また、実行委員会での決定事項など連絡が遅れることがあり、連携先事務局との情報の共有が難しかった。
- ② ガイド体験ではガイドを行う場所の間隔が大きく開いていたため、ガイドを受ける参加者が場所を探せないことがあり、活動場所によっては待機時間が長引くことがあった。
- ③ 第 1 回に参加し第 2 回に参加できなかった参加者は、当日に原稿を作成し、ガイドのリハーサルを行ったため、活動があわただしくなってしまった。



開講式・交流会の様子



地球フェスタウェルカムパーティの様子



ガイドのリハーサルを行う参加者



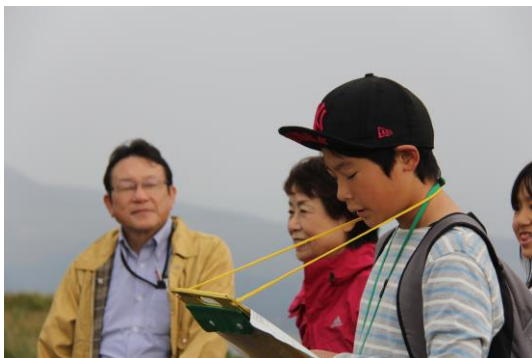
子どもサミット講演会の様子



子どもサミット参加者



連凧上げを行う参加者



大観峰でのガイドを行う参加者



閉講式で修了証をもらう参加者